JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産の日 2月13日（にほん いさん） 記念シンポジウム

文化庁は我が国の文化・伝統を誇る各地の“ストーリー”を「日本遺産」と認定し、
日本遺産の理解と関心を高めるべく**2月13日を「に（2）ほんい（1）さん（3）の日」**としました。

日時：2022年2月13日(日) 13:00～14:30

オンライン配信にて開催

13:00　**日本遺産実演** 認定ストーリー10 丹波篠山 デカンショ節－民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶－

主催者挨拶　末松 信介文部科学大臣

関係者メッセージ

13:30　**日本遺産大使によるスペシャルコンテンツ**
大倉 正之助氏　マーティ・フリードマン氏

13:45　**トークセッション『コロナ禍における文化観光～日本遺産の楽しみ方～』**
大倉 正之助氏（能楽師、日本遺産大使）
マーティ・フリードマン氏（ギタリスト、日本遺産大使）
里中 満智子氏（マンガ家）
酒井 隆明氏（丹波篠山市長）

14:30　**閉会**

シンポジウムの視聴はこちら

https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/special/sp220213.html
#日本遺産　#japanheritage　#日本遺産の日　#2月13日

※シンポジウムの内容は、予定から変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。

主催：文化庁 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

日本遺産とは…

日本各地には、それぞれの地域の歴史や風土に根差した、豊かで、魅力溢れる建物や美術品、お祭りや行事、昔の人びとの生活を語る遺跡や遺物など、守り・伝え・残されてきた文化財があります。それらの文化財を通して地域の歴史的魅力や特色を示す風習や文化としてまとめたストーリーを、文化庁が「日本遺産」として認定しています。日本遺産を体感することで、彩り豊かな各地の特色を知ることができます。

JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産ポータルサイト
https://japan-heritage.bunka.go.jp/
各地域の日本遺産をもっと詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

❖認定ストーリー10　平成27年度日本遺産認定

丹波篠山 デカンショ節
―民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶―

所在自治体：丹波篠山市（兵庫県）

〈ストーリー概要〉
かつて城下町として栄えた丹波篠山の地は、江戸時代の民謡を起源とするデカンショ節によって、地域のその時代ごとの風土や人情、名所、名産品が歌い継がれている。地元の人々はこぞってこれを愛唱し、民謡の世界そのままにふるさとの景色を守り伝え、地域への愛着を育んできた。その流れは、今日においても、新たな歌詞を生み出し新たな丹波篠山を更に後世に歌い継ぐ取組として脈々と生き続けており、今や300番にも上る「デカンショ節」を通じ、丹波篠山の街並みや伝統をそこかしこで体験できる世界が展開している。

〈構成文化財　デカンショ節（市指定無形民族文化財）〉
江戸時代から続く民謡「デカンショ節」は、明治31（1898）年、篠山出身の遊学生たちから旧制一高（現東京大学）の学生たちに伝わり、「丹波篠山　山家の猿が　花のお江戸で芝居する♪」で始まる歌は、たちまち多くの学生や若者から愛唱され全国に広まった。歌詞には、天下普請の篠山城をはじめ、伝統的な特産物である丹波黒大豆・丹波松茸・ぼたん鍋、日本の酒造技術の礎となった丹波杜氏の姿など数多くの歴史文化関連資産が歌いこまれ、有形・無形の文化を伝えている。

❖ Talk Session トークセッション登壇者 ❖

多方面で活躍されているゲストの皆様に、日本遺産の魅力についてお話を伺います。

能楽師、日本遺産大使　大倉 正之助氏

能楽囃子大倉流大鼓、小鼓の宗家に生まれる。能楽の公演他、世界各国の首脳・VIP来日での演奏や、政府主催の音楽祭に参加するなど国際文化交流の場で活躍。メディアにも多数出演し、日本の素晴らしい文化を世界に向け、発信し続けている。
2020年2月13日より日本遺産大使として活躍。

ギタリスト、日本遺産大使　マーティ・フリードマン氏

アメリカワシントンD.C.生まれ。J-POPの音楽性に魅せられて、2004年に活動拠点をアメリカから日本・東京へと移した。現在は、音楽業界だけに留まらず、マルチ・アーティストとして活動している。
2016年11月4日より日本遺産大使として活躍。

マンガ家　里中 満智子氏

1964年「ピアの肖像」で第1回講談社新人漫画賞を受賞しプロデビュー。
代表作「天上の虹」「アリエスの乙女たち」など、子供ものから大人ものまで幅広い作品を発表している。
2015年度より日本遺産に係る委員に委嘱。

丹波篠山市長　酒井 隆明氏

弁護士、兵庫県議会議員を経て、平成19年篠山市長就任。「丹波篠山」ブランドを守り、未来につなぐため、全国で初となる市名変更を問う住民投票（投票率70%）により「篠山市」から「丹波篠山市」へ市名を変更。地方都市のリーダーとして、農業の都、自然と文化、美しいまちなみと田園風景など、丹波篠山市の魅力を活かしたまちづくりをめざす。